



J O F ニュース

APAN PERA OUNDATION
日本オペラ振興会会報

No.21

表紙photo:

2020年藤原歌劇団公演

「リゴレット」

作曲: G.ヴェルディ

指揮: 柴田真郁 演出: 松本重孝

写真: 池上直哉



目次 • Contents

- | | |
|---|----------------------------|
| 2 理事長交替のご挨拶 | 8 公演レビュー |
| 3 藤原歌劇団・日本オペラ協会だより | 9 公演ラインアップ／新入団会員紹介 |
| 4 「カルメン」インタビュー
桜井万祐子／藤田卓也／二瓶純子／澤崎一了 | 10 外部出演マネージメント オペラ&コンサート情報 |
| 6 「フィガロの結婚」インタビュー
谷友博／中井奈穂／小野寺光／横前奈緒 | 11 JOF・育成部 お知らせ |
| | 12 公式サイトのご案内 |

理事長交替のご挨拶

6月に開催された理事会で、公益財団法人日本オペラ振興会の理事長が、佐竹康峰（さたけ やすみね）から渡辺佳英（わたなべ よしひで）に交替することになりましたので、ご挨拶を兼ねてご紹介させていただきます。



渡辺佳英（左） 佐竹康峰（右）

勤務していて、少し前のリーマンショックのダメージがまだ残る中、そこに震災が重なってご来場観客数にも影響が出、公演回数を抑えていました。そこで、企業経営者に働きかけて、寄付や協賛をお願いしました。現在理事・評議員に就いている多くの方には、ずっとご協力を頂いています。中でも、立石信雄様には多額の寄付とご指導を頂戴できました。

——オペラ公演の普及という点ではどのような活動をされたのでしょうか？

佐竹 長い間ご苦労さまでした。私にとってあつという間の、有意義な時間でした。今回五期十年を迎え、一つの区切りとさせて頂きました。運営サイドの責任者として、ファンの皆様をはじめ、国や東京都、多くの企業スポンサー、劇場など関係各位のご支援に心より感謝する次第です。

——最初の質問ですが、一番大変だったのはどんな事でしたか？

佐竹 理事長に就いた二〇一一年は、あの東日本大震災が起きた年でした。銀行に

の企業がスポンサーを引き受けて下さった中で、全国のイオンモールを会場にキラバンコンサートを行うことになりました。年間二十〜三十公演を受託させて頂いており、お陰さまで、まだオペラをご覧になったことのない方々とも接点が広がっています。

——では、渡辺新理事長、抱負をお聞かせください。

渡辺 先ず、当財団の十代目の理事長として、クオリティの高いオペラ公演ができるよう微力ですが頑張っていきたいと思えます。わが国最古の藤原歌劇団と、和もの創作の先駆けである日本オペラ協会という二つの看板と伝統をしっかり守っていければ幸いです。

——折から、新型コロナウイルスの蔓延により、先行き不透明な時代になってきました。

渡辺 政府、文化庁はじめ大所高所からの支援に大いに期待するところです。その一方、新しい環境への自助努力が不可欠な時代になりました。日本だけでなくオペラの本場イタリアや米国の動向も学びながら、世界レベルでの対応に取り組みればと考えます。

——新理事長はオペラ鑑賞がご趣味とお聞きしていますが。

渡辺 若い頃からオペラは大のファンで、今でもヨーロッパでの観劇も含めて楽しんでいきます。これからは、観客席ではなく、

財団代表という立場に変わりますが、極上の舞台を通してオペラの魅力が届けられるよう、経営全般に力を入れて参ります。

——新理事長は現役の企業経営者で、公職にも就かれておられ、ご多忙と存じます。

渡辺 少しでもお役に立てるよう努めます。

——新旧両理事長、有り難うございました。お二人の益々の活躍をお祈り致します。

公益財団法人日本オペラ振興会 役員一覧

(2020年6月24日現在)

【顧問】	江崎玲於奈	西崎清久	吉村 融						
【理事】									
理事長	渡辺 佳英								
常務理事	折江 忠道	郡 愛子	下八川 共祐	大石 修治					
理事	飯塚 修	大田 原真美	加藤 丈夫	川村 恒明	河村 美保				
	佐竹 康峰	高橋 史郎	竹中 平蔵	田沼 千秋	永野 博				
	林 直樹	二木 英実	宗次 徳二	山下 直	分林 保弘				
【監事】	筑紫 勝磨	平田 毅彦							
【評議員】	市村 佑一	及川 貢	勝 栄二郎	鴨川 太郎	古賀 信行				
	坂本 和彦	高梨 兵左衛門	英 正建	藤原 幸子	北條 秀哉				
	星出 豊	高野 正人	松澤 達夫	見田 幸元	南 直哉				
	村上 光一	本宮 寛子	山島 達夫	横田 弘幸					

藤原歌劇団 だより



藤原歌劇団総監督
折江 忠道

昨年の台風、豪雨被害に続き今年には目に
見えないウィルスの脅威に戦々恐々とす
る毎日ですが、オペラ界がこれ程の打撃を
蒙るとは一体誰が想像したでしょうか？

計画されていた公演の開催がことごと
く中止となるばかりか劇場そのものが閉
鎖されるこの異常事態の中、我々歌手の
みならず舞台制作に携わる全ての業種の
方々の現状は最早死活問題にまで達して
います。この混乱と恐慌の時代であって、
86年の歴史を持つ藤原歌劇団、そして約
1100名の団員を擁する日本オペラ
振興会の持久力が今試されているのだと
痛感します。

この出口の見えないトンネル走行下にあ
つて、我々は国の対応要請に沿うべく存
続策と持久力を駆使しながら、細心の注意
と勇気をもってこの禍に立ち向かわなけ
ればなりません。

そんな中、プロの歌手としていつ如何なる
時にも舞台上に臨むべく身構えを整えて
おく事は当然の心得として、今最も心配さ
れるのは団員各位の健康です。どうか
健康管理に徹底した注意と対応をお願い
したいと深く念じています。

さて、一度は中止やむ無しとさえ危ぶ
まれた「カルメン」公演ですが、8月15日、
16日、17日の3回公演として開催する運び
と相成りました。コロナ感染予防対策と
してフェイスマスク着用やソーシャル
ディスタンスを厳守しての特別演出によ
る前代未聞の舞台となりますが、この未曾
有の困難に立ち向かう真摯な姿を何ら臆
する事なく世界に向け発信したいと強く
望んでいます。お客様の入場者数も50%
以下に制限させて頂くほか、ホール内での
感染予防対策にも万全を期して臨む所存
です。

このほか、今年度シリーズでは「フィ
ガロの結婚」(来年1月8日、9日に延期
のうえ開催)、「ジュリエッタとロメオ」、
「ラ・ボエーム」など肩の凝らない作品を
網羅していますが、これらの公演開催にお
客様の感動実現に向け一日も早く叶う事
を願うと共に、聖地であるオペラ劇場の完
全解放を心から祈っています。

今だからこそ団員一丸となってこの
危機を乗り越えるべく、尚一層の覚悟と勇
気をもって臨みましょう。

禁周章狼狽 忍艱難辛苦 能明鏡止水

日本オペラ協会 だより



日本オペラ協会総監督
郡 愛子

新型コロナウイルス禍により、私たちの
生活様式に様々な変化がもたらされつつ
ありますが、気が付けば今年も半分の月日
が経過してしまいました。この間に私た
ちは、「協調」と「連帯」無くしては、これか
らの人類の幸福と繁栄は望めないことを、
あらためて学んだような気がいたします。

そして私ども日本オペラ協会は、ますま
す心安らぐオペラの上演に努めなくては
ならない。との使命感を覚えます。「真の
人間性の回復」や「魂の永遠性」など普遍
的なテーマの作品に接することによって、
人はきつと共感や感動を覚え、日ごろのス
トレスから解放されるとともにお互いを
尊重し合う気持ちになれるのではないで
しょうか。

去る1月11日より15日まで5日間にわ
たり、Bunkamuraオーチャード
ホールで開催された当協会の令和元年度
公演「スーパーオペラ〜歌劇「紅天女」は、
まさに「人の真」を問う作品でした。連日
盛况を呈し、カーテンコールでは満場総立
ちとなるスタンディングオベーションの
光景も見られるなど、この先さらに磨きを
かけることによって、海外でも愛されるオ
ペラとなる可能性を感じました。この公

演を成功に導いて下さいましたすべての
方々に、心より感謝を申し上げます。

扱、令和2年度の日本オペラ協会公演
は、昨年2月に急逝された中村透先生の
作曲・台本による「中村透追悼公演」〜「キ
ジムナー時を翔ける」を、2021年2
月20日、21日に新宿文化センター大ホー
ルで上演させて頂いたいただきます。指揮は、
1992年の沖縄初演と94年の東京初演
で指揮を務めた星出豊氏、演出は、生前
中村先生と親交が厚かった沖縄出身の演
出家・栗國安彦氏のご長男で、日本を代
表するオペラ演出家の栗國淳氏が務めま
す。沖縄のガジュマルなどの大樹に棲み、
過去、現在、そして未来に亘るまで沖縄の
人々や自然を見守り続ける妖精「キジム
ナー」を介して繰り広げられるこの人間ド
ラマは、民俗音楽の宝庫といわれる沖縄の
魅力溢れる旋律が散りばめられた音楽を
背景に、沖縄をこよなく愛された中村透先
生の優しさそのままに、いま忘れられが
ちな「真の人間性」をそっと気付かせてくれ
ます。

日本オペラで、どうぞ心に潤いと栄養
を！

カルメン

出演者インタビュー



2017年 藤原歌劇団公演「カルメン」より(以下同)

8/15&17 カルメン



桜井万祐子
[メゾ・ソプラノ]

●現在もイタリアにお住まいで欧州を拠点に活躍を続けている桜井さんが、これまでで一番演じているカルメン役で今回藤原デビューされることになりました。今までカルメンを歌われてきて、この役にどのような想いを持っていらっしゃいますか？

実はカルメンを初めて演じたのは名古屋芸術大学在学中で、当時は豪華な先輩方に囲まれていたにも関わらず自分が歌うことにピンと来ていない時期だったので、大変ご迷惑をおかけしてしまいました。



8/15&17 ドン・ホセ



藤田卓也
[テノール]

●前回2017年公演でも同役を演じられた藤田さん。ドン・ホセは、ご自身にとってどんな役でしょうか？

このドン・ホセという人物を、長い間、カルメンの魅力によって理性を失い道を外れていく哀れな男だと思っていました。しかし2017年の公演の際、岩田達宗さんの演出によって新たな見方になったのを覚えています。彼は確かに理性を失いました。ただ、それはカルメンやエヌカミーリョという人物によって別人格に変貌させられたのではなく、本来の彼の姿が目覚めたということでも

その後イタリア留学中に、カルメンの舞台でもあるスペインのセビリヤで二月にわたってほぼ毎日カルメンを歌うというオフアーをいただきました。とてもハードな舞台でしたが、お客さまのすぐ近くで脚を出し駆け回り啖呵を切るうちに自然とカルメンらしさが身に付いてきたように思います。セビリヤの雰囲気やラテンの女性たちから吸収したことも沢山あります。

更にメリメの書いた原作にも大きく影響を受けました。そしてその後も様々な場でカルメンを歌うオフアーをいただき、その都度、私の中のカルメン像を深めて参りました。振り返れば私の歌手としての成長はカルメンと共にあったのかもしれない。●今回のデビューを楽しみにされている皆様へ、メッセージをお願い致します。

今回皆さまの前で演じさせていただくカルメンは今の私の中にある嘘偽りのない、生身の「カルメン」です。架空の役柄ですが、私の中に生きているカルメンを見出しただけでしたら幸いです。

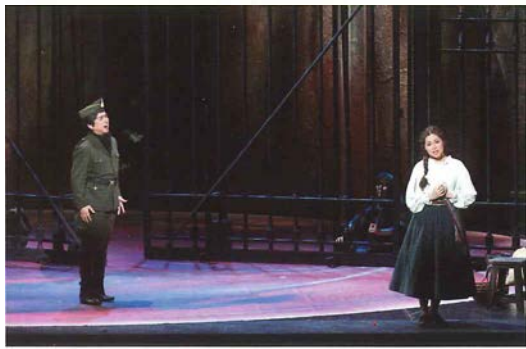
あり、彼の心がカルメンの何度も口にする「自由」を得て、それによって動いた運命は彼にとって決して哀れとは言いきれないと。

●藤田さんのご活躍を楽しみにしている皆様へ、一言お願いします！

今何よりもまず、芸術に携われていることに感謝しております。我々の愛するこのオペラ芸術はこれまででなされてきたように、これからも舞台に再現され未来に受け継がれるべきであり、我々にはその使命があると思っています。私にとってそれは生きる原動力です。

自由で完全体の公演を目標にしつつ、今できる完全体を全員で楽しめたいなと心から願うばかりです。





この数ヶ月間、世の中の様々な公演やイベントが延期・中止となる中で、演奏の場がありお客様に聴いていただける事がどんなに有り難い事かを実感しました。応援して下さいお客様に感謝の気持ちを込めて一同力を合わせて舞台を創り上げたいです。どうぞ宜しくお願い致します。

●今回二瓶さんにとって、メゾ・ソプラノの大役での藤原口ルデビューとなりました！当団のオペラ歌手育成部を経て、様々な経験をされてきたと思いますが、どんな「カルメン」を演じたいと思われていますか？

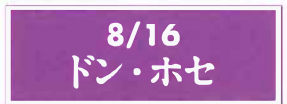
「カルメン」は藤原歌劇団に入団して間もない頃に、全国各地の学校公演で合唱出演させていただいた思い出深い演目です。先輩方から手取り足取り教えていただく中で舞台人としての心構えや表現を学び、そして出演者・スタッフ全員が一丸となって創り上げるオペラの素晴らしさに改めて魅了されたのを覚えています。この度タイトルロールで出演させていただく事になり、大変光栄で身の引き締まる思いです。

信念を貫き通す彼女の生き様を、お客様に感じ取っていただけよう演じたいです。また今回の特別演出を通して、お客様に「カルメン」という作品の魅力をより深く味わっていただければ嬉しく思います。

●応援してくださっている皆様へ、メッセージをお願い致します！



二瓶純子
[メゾ・ソプラノ]



澤崎一了
[テノール]

●昨年の「ラ・トラヴィアータ」アルフレード役で鮮烈なデビューを飾った澤崎さん。早くも藤原が十八番としている作品でテノールの大役を射止めました。この役への想い、またこれからの「自身の展望を教えてください。」

昨年は多くの素敵な経験を積ませて頂くことができ、本当に感謝感激です。藤原歌劇団の大舞台でアルフレード役を演じることができ、稽古の時間からプライベートの時間、そして劇場に入ってから終演までの時間全てが刺激的で、あのような時間をまた過ごせると思うと嬉しさと緊張で既に胸がいっぱいです。今回はドン・ホセという私も大好きな役の1つで、「運命」に引き寄せられたままに真直ぐ生きた男の結末を熱く演じることが出来るよう精進して参りたいと思います。

しかも、今回は藤原歌劇団の舞台で師匠との初共演ということもあり、嬉しい事が重なっての「カルメン」公演になります。こういった二つ二つの大事な経験を活かして歌手としても人としても成長していきたいと思えます。

●澤崎さんのドン・ホセを心待ちにされている皆様へ、一言お願いします。

まだまだ油断の出来ない日々が続いており、世界的に見てもこの舞台芸術、表現者、それを支えてくださるスタッフや多くの方の活動再開は正直もう少し先の事になるかと思っておりますが、藤原歌劇団先陣きって一致団結してこの公演に取り組みむという、とても強いメッセージをもって挑むこととなりました。

『新しい生活様式』という、以前とは少し変わった生活スタイルがはじまりましたが、そんな中でも自分自身とても音楽に助けられることが多いと改めて芸術の偉大さに気づかされる日々でもあります。本番までの間、音楽が出来る、オペラが出来る環境に感謝しながら素敵な公演になるよう力尽くして参りたいと思います。皆様に平穏な日々が訪れますように。

●藤原歌劇団公演
「カルメン」ビゼー作曲 <オペラ全4幕>

2020.
8/15(土)・16(日)・17(月) 14:00

●テアトロ・ジーリオ・ショウワ

- 指揮 鈴木恵里奈
- 演出 岩田達宗

	8/15&17	8/16
カルメン	桜井万祐子	二瓶純子
ドン・ホセ	藤田卓也	澤崎一了
エスカミーリョ	井出壮志朗	市川有一郎
ミカエラ	伊藤晴	石岡幸恵
ズニガ	東原貞彦	泉良平
モラレス	大野浩司	大槻聡之介
フラスキータ	山口佳子	楠野麻衣
メルセデス	増田弓	北菌彩佳
ダンカイロ	押川浩士	角田和弘
レメンダード	及川尚志	山内政幸

合唱…藤原歌劇団合唱部
舞踊…平富恵スペイン舞踊団
管弦楽…テアトロ・ジーリオ・ショウワ・オーケストラ



コロナに打ち勝つために…

本公演は新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため、以下のような対策を講じてお客様に安心してオペラをご鑑賞いただける公演創りに努めます。

- ★スタッフはマスク・手袋などを着用して接客を行います。
- ★3密を避けるため、お席は50%以下になるよう配慮致します。
- ★会場内の空気循環を常に行います。
- ★館内・備品は事前に消毒を行います。



その他、詳細な取り組みはホームページにて公開いたします。

お客様へのお願い



- ★会場内ではマスクの着用をお願い致します。
- ★発熱や咳など、体調に不安のある方はご来場をご遠慮いただきますようお願い致します。
- ★飲食物の販売は行いません。お飲み物などはご持参ください。
- ★出演者によるお見送り・サイン会は実施致しません。楽屋口での入出待ちはお断り致します。また、出演者へのプレゼントや花束などの贈り物はご遠慮ください。

フィガロの結婚

出演者インタビュー



2012年 藤原歌劇団公演「フィガロの結婚」より(以下同)

1/8
フィガロ



谷 友博
Tomohiro TANI
[バリトン]

●前回2012年の同プロダクション公演では、アルマヴィーヴァ伯爵役で出演されている谷さん。前回のマエストロ・ゼツダや演出のマルコ・ガンディーニさんとの思い出を教えてください。

もう8年も経ちますが、稽古の時からとても楽しめた公演で、とても鮮明に覚えています。マルコさんの演出はとてもスタンダードですが、演出を押し付けず、自由に演じさせてくれて、その人と役柄をリンクさせ、個々の歌手の良さを充分に引き出してくれているような感じだったと思います。とても心地よく伯爵を演じる

ことができました。そこにゼツダ先生の指揮で歌えるわけですから、この上ない贅沢な環境でした。マエストロとはロッシーニ作品を3本ご一緒させて頂きましたが、レチタティーヴォでは本番中も一緒に演技してくれるんです。お客様にはお見せする事が出来ないので、とても残念でした。

●今回はタイトルロールのフィガロ役となりますが、本役はどんなお気持ちで臨まれるのでしょうか。

最近では伯爵を歌う事が多かったのですが、フィガロは久しぶりです。自分にとってフィガロという役は特別です。初めて日本で大きな舞台で歌ったのもこのフィガロ役でしたし、イタリアで初めて出演したオペラは「セビリアの理髪師」のフィガロでした。学生の時に初めて歌ったアリアも「もし踊りたければ *Se vuol ballare*」でした。初心に戻って、あの時の気持ちを思い出し、もう一度隅々まで楽譜を見直して挑みたいと思います。

バイタリテイに富んだ魅力的な女性です。

再びこの役で出演させていただけることに感謝し、よりパワフルに舞台上を駆け回りたいと思います。

●演出のマルコ・ガンディーニさんとは何度もご一緒されていると思いますが、今回のプロダクションのポイントはどこにあると思いますか？

ガンディーニ氏は、これまで国内外で、モーツァルトのダ・ポンテ全三部作をご一緒させていただきました。稽古中彼がおっしゃった言葉の中に「verosimile(本当のような)」があります。彼の演出は自然かつパワフル、そして人間愛に満ちていると常に感じます。

昨今の災害や疫病により、世界中が先の見えない不安で包まれている今、この作品を演じさせていただく意味を感じつつ、願わくば皆様と終幕フィナーレの「喜び」を共有できますよう務めてまいります。

1/8
スザンナ



中井奈穂
Nao NAKAI
[ソプラノ]

●昨年、藤原歌劇団・NISSAY OPERA 2019公演「愛の妙薬」アディーナでデビューを飾った中井さん。今回は以前もスザンナを演じられた劇場で、このスープレットの難役に挑まれます。意気込みを教えてください。

ウィットに富んだ言葉で綴られた台本と形式美の中で遊び心溢れる音楽で紡がれた「フィガロの結婚」は、11人の人間味ある登場人物がおりなす、沢山の重唱や長大なフィナーレを有する喜劇です。スザンナは賢く、キュート、そしてどんな苦境も逞しく乗り越える

1/9
ファイガロ



小野寺 光
Hikaru ONODERA
[バス・バリトン]

●昨年、藤原デビューを飾った「ランスへの旅」のシドニー卿から一転、プッフォ(喜劇)となるタイトルロール・ファイガロ役を演じるこ
とになりました。小野寺さんから見るバスツ・プッフォの難しさは
どこにあると思われますか？

確かに、代表的なバスツ・プッフォと言っても過言ではない役ですが、
正直私はあまり意識しすぎないようにしています。(笑)

バスツ・プッフォ特有の早口での歌唱は所々に散りばめられている
ですが、「愛の妙薬」のドウルカマーラや「セビリヤの理髪師」のバル
トロといった役とは違い、少年のような純粋さと、人間的な嫉妬深
さも持っているのがファイガロだと思います。

一瞬一瞬を必死に生き、少年のような心を持つ、ひとりの青年とし
て、彼を演じられればと思います。

●今回この大役を演じるにあたり、意気込みをお願い致します！
初めてこのファイガロ役を歌った時も、マルコ・ガンディーニさんの演出
でした。藤原歌劇団で再びマルコさんと一緒にできることを、大変
嬉しく思います。当時よりもパワーアップしたファイガロを目指し、
ひとりでも多くの方にお楽しみいただけるよう、精一杯務めさせて
いただきます。どうぞ宜しくお願いいたします。

1/9
スザンナ



横前 奈緒
Nao YOKOMAE
[ソプラノ]

●藤原歌劇団には「ラ・チエネントラ」「ランスへの旅」で大活躍
され、注目を集めている横前さん。現在もイタリアで生活されて
いる中で、オペラを勉強するにあたって「番糧」になるところはど
んどと感じていますか？

イタリア生活で私が一番大切にしているのは、現地の方々のコミュ
ニケーションです。訪れる地によって変わるイタリア語の扱いや仕草、

習慣や文化の違いを感じられることは、私の喜びであり大切な糧
になっています。

●横前さんが思うスザンナという役の魅力と難しさ、また「フィガ
ロの結婚」の見どころを教えてください！

藤原歌劇団では、今までに二人の女性を演じさせていただきました。
一言で言うてしまえば「奔放」な一人。今回演じるスザンナは
「奔放」には振舞うことの出来ない、歴史的な背景と身分制度を
リアルに映し出している人物です。オペラ完成から230年余経っ
た今でも変わらず人々に愛され続けるこの作品は、差別問題が物
議を醸している今こそ観たい作品のつだと思っています。ファイガロ
とその婚約者スザンナの結婚式当日に繰り広げられる、様々な男
女の人間模様。美しい音楽の中で語られる「狂おしき日」を、是
非テアトロ・ジューリオ・ショウワにてお楽しみください！



藤原歌劇団公演

「ファイガロの結婚」

モーツァルト作曲 <オペラ全4幕>

2021年 1/8(金)・9(土) 14:00

●テアトロ・ジューリオ・ショウワ

●指揮 鈴木恵里奈

●演出 マルコ・ガンディーニ

1/8

1/9

- | | | |
|------------|-------|-------|
| アルマヴィーヴァ伯爵 | 須藤慎吾 | 井出壮志郎 |
| 伯爵夫人 | 西本真子 | 迫田美帆 |
| フィガロ | 谷友博 | 小野寺光 |
| スザンナ | 中井奈穂 | 横前奈緒 |
| ケルビーノ | 向野由美子 | 丹呉由利子 |
| マルチェッリーナ | 牧野真由美 | 松原広美 |
| バルトロ | 東原貞彦 | 相沢創 |
| パジリオ | 持木弘 | 角田和弘 |
| ドン・クルツイオ | 松浦健 | 三浦大喜 |
| バルバリーナ | 芝野遥香 | 網永悠里 |
| アントーニオ | 安東玄人 | 杉尾真吾 |

合唱…藤原歌劇団合唱部

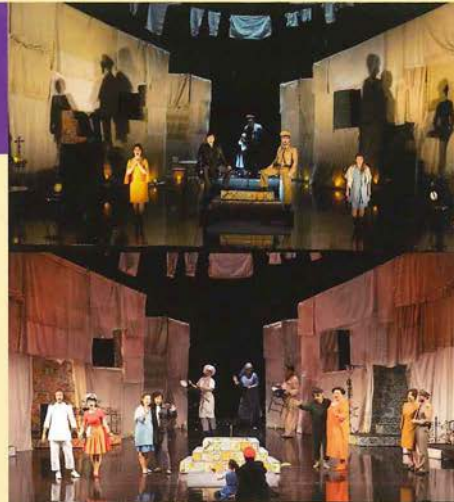
管弦楽…テアトロ・ジューリオ・ショウワ・オーケストラ



ベルカントオペラフェスティバル イン ジャパン2019公演
 [藤原歌劇団×ヴァッレ・ディトリア (マルティーナ・フランカ) 音楽祭提携]
 A. スカルラッチ作曲「貞節の勝利」 新制作
 2019. 11/15・17 ● テアトロ・ジーリオ・シオウワ

40年以上の歴史を持つ本場イタリアの音楽祭と提携
 笑いあり!涙あり!スカルラッチの隠れた名作喜劇

2019年3月に開幕した日本初の本格的音楽祭“ベルカントオペラフェスティバル イン ジャパン”の第2弾となる今回は、バロックに焦点を置き、アレサンドロ・スカルラッチの隠れた名作オペラ「貞節の勝利」を公演しました。バロック研究でも名を馳せているグレーコのタクト、フェッラウとステッルーティの若き2名の演出家によって、古典の作品とは思えないほどに生き生きと鮮やかに蘇りました。キャストには、イタリアでも活躍するカウンターテナーのペーと、若きバス・バリトンのラ・プラーカを招聘。その他日本人キャストも大健闘し、稀有なバロックオペラを多くのお客様にご堪能いただきました。



●指揮 アントニオ・グレーコ ●演出 ジャコモ・フェッラウ&リーベロ・ステッルーティ ●出演 リッカルド・アルベノーリ: 迫田美帆 レオノーラ・ドリーニ: 米谷朋子 エルミーニオ: ラッファエーレ・ペー ドラリーチェ・ロッセッティ: 伊藤 晴 フラミーニオ・カストラヴァッカ: 小堀勇介 コルネーリア・ブッフアッチ: 山内政幸 ロジーナ・カルッチャ: 但馬由香 ロディマルテ・ボンバルダ隊長: バトリーツィオ・ラ・プラーカ 管弦楽: ベルカントオペラフェスティバル管弦楽団
 ●スタッフ 美術: ステファノ・ズッコ 衣裳: サーラ・マルクッチ 照明: ジュリアーノ・アルメーギ 振付: リッカルド・オリヴィエール 舞台監督: 八木清市 他



日本オペラ協会公演
 美内すずえ 原作/寺嶋民哉 作曲 スーパーオペラ
 歌劇「紅天女」~『ガラスの仮面』より~ 新制作
 2020. 1/11・12・13・14・15 ● Bunkamuraオーチャードホール

ついに幻の名作「紅天女」をオペラ化!
 未だかつてない壮大なスケールの公演に感動の嵐

60年以上の歴史を持つ日本オペラ協会が新たに挑んだのは、大人気コミックスである美内すずえ原作『ガラスの仮面』の作中劇「紅天女」の新作初演。オペラとしては異例の5回公演で、オペラファンのみならず連日多くのお客様にご来場いただき、新しい“スーパーオペラ”を存分に味わっていただきました。今回タクトを握ったのはイタリアオペラで定評のある園田隆一郎がこの壮大な作品をまとめあげ、馬場紀雄の演出、また人間国宝の梅若実玄祥の特別演出振付で漫画の世界観を見事に再現しました。歌手も全役オーディションを勝ち抜いた実力派揃いで、新春早々に相応しい公演をお届け致しました。



●指揮 園田隆一郎 ●演出 馬場紀雄 ●特別演出振付 梅若実玄祥 ●出演 阿古夜×紅天女: 小林沙羅/笠松はる 仏師・一真: 山本康寛/海道弘昭 帝: 杉尾真吾/山田大智 伊賀の局: 丹呉由利子/長島由佳 楠木正儀: 岡 昭宏/金沢 平 藤原照房: 渡辺 康/前川健生 長老: 三浦克次/中村靖 お豊: 松原広美/きのしたひろこ 楠木正勝: 斎木智弥/曾我雄一 こだま: 飯嶋幸子/栗林瑛利子 しじま: 古澤真紀子/杉山由紀 お頭: 普久原武学/龍 進一郎 お滝: 鈴木美也子/佐藤恵利 久蔵(旅芸人): 馬場大輝/望月一平 権左(旅芸人): 嶋田言一/脇坂 和 クズマ: 照屋篤紀/清水実 合唱: 日本オペラ協会 管弦楽: 東京フィルハーモニー交響楽団
 ●スタッフ 合唱指揮: 河原哲也 美術: 川口直次 衣裳: さとううさぶろう 照明: 奥畑康夫 舞台監督: 八木清市 他



藤原歌劇団公演
 ヴェルディ作曲「リゴレット」 新制作
 2020. 2/1・2 ● 東京文化会館大ホール
 2/8 ● 愛知県芸術劇場大ホール

「イタリアオペラの藤原」が誇る鉄壁キャストで
 ヴェルディの人気作品を13年ぶりに新制作

日本でも人気のあるヴェルディ中期の作品「リゴレット」を、東京と愛知の2会場全3回公演でお届けいたしました。オーソドックスな中にも心理描写を表現することで定評のある松本重孝の新演出で、当団としては13年ぶりに上演。指揮は奇才・柴田真郁。2017年「カルメン」ぶりの共演となる日本フィルをまとめ上げ、須藤慎吾、上江隼人、笛田博昭、村上敏明、佐藤美枝子、光岡暁恵ら藤原歌劇団を代表する鉄壁キャストで、このヴェルディの傑作に新しい息吹を注ぎました。多くのお客様にご来場いただき、父娘の悲劇に誰しもが涙し、連日惜しみない拍手が贈られました。



●指揮 柴田真郁 ●演出 松本重孝 ●出演 リゴレット: 須藤慎吾/上江隼人 マントヴァ公爵: 笛田博昭/村上敏明 ジルダ: 佐藤美枝子/光岡暁恵 スパラフチーレ: 伊藤貴之/豊嶋祐壺 マッドレーナ: 鳥木弥生/米谷朋子 モンテローネ伯爵: 泉 良平/村田孝高 マルッコ: 月野 進/大野浩司 ボルサ: 井出 司/有本康人 チェブラーノ伯爵: 相沢 創/上田誠司 チェブラーノ伯爵夫人: 相羽 薫/古澤真紀子 小姓: 丸尾有香/網永悠里 合唱: 藤原歌劇団合唱部 管弦楽: 日本フィルハーモニー交響楽団(東京)/セントラル愛知交響楽団(愛知)
 ●スタッフ 合唱指揮: 須藤桂司 美術: 大沢佐智子 衣裳: 前岡直子 照明: 服部 基 舞台監督: 菅原多敬弘 他

Opera

■藤原歌劇団公演

「カルメン」 ビゼー作曲

指揮：鈴木恵里奈／演出：岩田達宗

2020年8月15日(土)・16日(日)・17日(月)

14:00開演／テアトロ・ジューリオ・ショウワ

■ベルカントオペラフェスティバル イン ジャパン2020 (主催：文化庁)

「ジュリエッタとロメオ」 ヴァッカイ作曲

ニュープロダクション

指揮：フランチェスコ・チッルッポ

演出：チェチーリア・リゴリオ

2020年12月4日(金)・6日(日) 14:00開演

テアトロ・ジューリオ・ショウワ

※その他コンサート・シンポジウム等開催
音楽祭期間：12/1(火)~12/6(日)予定

■藤原歌劇団公演

「フィガロの結婚」 モーツァルト作曲

指揮：園田隆一郎／演出：マルコ・ガンディーニ

2021年1月8日(金)・9日(土)

14:00開演／テアトロ・ジューリオ・ショウワ

■藤原歌劇団公演

「ラ・ボエーム」 プッチーニ作曲

指揮：セスト・クワトリーニ／演出：岩田達宗

2021年1月30日(土)・31日(日)

14:00開演／東京文化会館大ホール

2021年2月6日(土)

14:00開演／愛知県芸術劇場大ホール

指揮：鈴木恵里奈

2021年2月27日(土) 14:00開演

兵庫県立芸術文化センター

KOBELCO大ホール

■日本オペラ協会公演

「キジムナー時を翔ける」

ニュープロダクション

中村 透 作曲・台本

指揮：星出 豊／演出：栗國 淳

2021年2月20日(土)・21日(日)

14:00開演

新宿文化センター大ホール

Concert

Autumn Concert 2020

2020年10月10日(土) 14:00開演

ユリホール

デビューコンサート2020 vol.2

2020年11月28日(土)

イイノホール

デビューコンサート2020 vol.1

2020年11月7日(土)

イイノホール

Management

山本康寛テノールリサイタル (仮)

2020年11月27日(金)

Hakuju Hall

西本真子ソプラノリサイタル

2021年1月11日(月・祝)

静岡音楽館 AOI

新入団・会員 紹介

藤原歌劇団 正団員

▶ オーディションによる



ながた まさみ (S)



なかむら めいふき (S)*



はら あいか (S)

日本オペラ協会 正会員

▶ 推薦による



わかさか かずひろ (T)



まつもと かずこ (P)

藤原歌劇団 準団員

▶ オーディションによる



あさい ひろこ (S)



あさはら りょうじ (S)



しもかわ りょうじ (S)



にしino ももこ (S)



よしみ まきこ (S)

日本オペラ協会 準会員

▶ オーディションによる



にいのみ りんこ (S)



うつみ あかね (Ms)



やました みみ (Ms)



ささき しゅんいちろう (T)



なるひこ たみあき (T)

*=準団員より
2020年3月末付

Schedule & Information

2020年 外部出演マネージメント (2020年6月~12月)

(2020年 6月19日現在)

※今後、中止・延期になる可能性がありますので予めご了承ください。

【2020年】

6/28(日)
東京音楽コンクール入賞者による
テノールの饗宴
出演:村上敏明
会場:東京文化会館大ホール

7/16(木)
トワイライト・クラシック・コンサート
出演:乗松恵美
場所:宝くじドリーム館(大阪)

7/24(金)
リラックス・パフォーマンス
~世代、障害を越えて楽しめる
オーケストラ・コンサート~
出演:村上敏明
場所:東京文化会館大ホール

8/4(火)・5(水)
響ホールワンコインコンサートvol.22
出演:廣田美穂、浅野菜生子
会場:北小倉市民センター、貴船市民センター、
北九州市響ホール

8/15(土)
オペラdeイオンモール
出演:調整中
会場:イオンモールりんくう泉南(大阪)

8/30(日)
東京文化会館オペラBOX
「アマールと夜の訪問者」
出演:久保田真澄
会場:東京文化会館小ホール

9/5(土)
オペラdeイオンモール
出演:調整中
会場:イオンモール旭川(北海道)

9/12(土)
オペラdeイオンモール
出演:調整中
会場:イオン藤井寺ショッピングセンター(大阪)

9/13(日)
第561回定期演奏会
出演:小林厚子、鳥木弥生、澤崎一了、伊藤貴之
会場:高崎芸術劇場大劇場

9/19(土)
オペラdeイオンモール
出演:調整中
会場:イオンモール水戸内原(茨城)

9/19(土)
東京芸術劇場30周年記念公演
東京芸術劇場シアターオペラvol.14
モーツァルト/
歌劇「フィガロの結婚」~庭師は見た!~(再演)
出演:森山京子、三浦大喜
会場:ミュージアムシブキエニホール

9/21(月祝)
オペラdeイオンモール
出演:調整中
会場:イオンモール千葉ニュータウン(千葉)

9/22(火祝)
オペラdeイオンモール
出演:調整中
会場:イオンモール名取(宮城)

9/27(日)
東京文化会館オペラBOX
「アマールと夜の訪問者」
出演:久保田真澄
会場:倉敷市民会館

10/3(土)
オペラdeイオンモール
出演:調整中
会場:イオンモール座間(神奈川)

10/9(金)
第135回
中部日本整形外科災害外科学会・学術集会
出演:米谷朋子
会場:くにびきメッセ(島根県立産業交流会館)

10/11(日)
オペラdeイオンモール
出演:調整中
会場:イオンモール都城駅前(宮崎)

10/17(土)・18(日)・24(土)・31(土)
2020年国内共同制作公演「トウランドット」
出演:砂川涼子
会場:神奈川県民ホール、大分iichikoホール、
山形県総合文化芸術館

10/21(水)
ランチタイム・クラシック・コンサート
出演:乗松恵美
場所:宝くじドリーム館(東京)

10/24(日)
オペラdeイオンモール
出演:調整中
会場:イオンモール四條畷(大阪)

10/30(金)・11/1(日)
東京芸術劇場30周年記念公演
東京芸術劇場シアターオペラvol.14
モーツァルト/
歌劇「フィガロの結婚」~庭師は見た!~(再演)
出演:森山京子、三浦大喜
会場:東京芸術劇場コンサートホール

11/3(火祝)
オペラdeイオンモール
出演:調整中
会場:イオンモール宇城(熊本)

11/7(土)
第33回リハブル・クラシックコンサート
出演:松浦麗
会場:Bunkamuraオーチャードホール

11/8(日)
第233回サンデーコンサート
出演:苗田博昭
会場:東京芸術劇場

11/8(日)
オペラdeイオンモール
出演:調整中
会場:イオンモールつくば(茨城)

11/13(金)
日本オペラ創作事業
オペラ「咲く」(演奏会形式)
出演:芝野遥香、佐藤みほ、丹呉由利子、曾我雄一、
大塚雄太、日本オペラ協会(合唱)
会場:テアトロ・ジーリオ・シウワ

11/14(土)
オペラdeイオンモール
出演:調整中
会場:イオンモール太田(群馬)

11/14(土)・15(日)・21(土)・22(日)
第24回藤沢市民オペラ「ナブッコ」
出演:小林厚子、伊藤貴之、須藤慎吾、杉尾真吾、
平尾啓
会場:藤沢市民会館大ホール

11/15(日)
オペラdeイオンモール
出演:調整中
会場:イオンモール高崎(群馬)

11/23(月祝)
オペラdeイオンモール
出演:調整中
会場:イオンモール今治新都市(愛媛)

11/28(土)
オペラdeイオンモール
出演:調整中
会場:イオンモール日の出(東京)

11/29(日)
オペラdeイオンモール
出演:調整中
会場:イオンモール新居浜(愛媛)

12/4(金)
オペラ歌手紅白対抗歌合戦~声魂真剣勝負~
出演:鳥木弥生、苗田博昭、村上敏明、須藤慎吾
会場:サントリーホール

12/5(土)
オペラdeイオンモール
出演:調整中
会場:イオンモール津南(三重)

12/6(日)
オペラdeイオンモール
出演:調整中
会場:イオンモール浜松志都呂(静岡)

12/12(土)
オペラdeイオンモール
出演:調整中
会場:イオンモール宮崎(宮崎)

12/13(日)
オペラdeイオンモール
出演:調整中
会場:イオンモール木更津(千葉)

12/16(水)
トワイライト・クラシック・コンサート
出演:大森哲子
場所:宝くじドリーム館(東京)

12/19(土)
オペラdeイオンモール
出演:調整中
会場:イオンモール新瑞橋(愛知)

12/19(土)
第九演奏会
出演:村上敏明
会場:長野県民文化会館ホクトホール

12/20(日)
第九演奏会
出演:伊藤晴
会場:三重県文化会館

12/20(日)
オペラdeイオンモール
出演:調整中
会場:イオンモール名古屋茶屋(愛知)

受託オペラ

10/22(木)~26(月)
2020年度文化芸術による子供の育成事業
一巡回公演事業一
C.L.メロッティ作曲
オペラ「助けて、助けて、宇宙人がやってきました!」
出演:佐藤美枝子、中畑有美子、別府美沙子、山邊聖美、
牧野真由美、松原広美、市川和彦、柴山秀明、
持木弘、山内政幸、大石洋史、大野浩司、
岡昭宏、岡山肇、折江忠道、龍進一郎、
和下田大典、伊藤香織、加藤美帆、芝野遥香、
中桐かなえ、安藤千尋、高橋裕子、藤原藍子
会場:秋田県、青森県

★ information

お得で魅力一杯のJOF (日本オペラ振興会) 鑑賞会員 選べる! <JOFプレミアムシート> 2020/21シーズン ● 新規会員大好評募集中!!

藤原歌劇団・日本オペラ協会の公演がまとめてお申し込みいただける<JOFプレミアムシート>2020/21シーズンは、全6箇所4演目を最大20%OFFでご鑑賞できます! 限定特典も盛りだくさんです。観れば観るほどお得なくJOFプレミアムシート>をお見逃し無く!!

*どの会員も数と期間に限りがございますので、お早めにお申込みください。
詳細は、下記チケットセンターにお問い合わせください。

会員特典

- ① 最高席を最優先で確保いたします
- ② 有料プログラム引換券を進呈
- ③ ゲネプロ(最終舞台稽古)・バックステージ見学へのご招待
- ④ 所属歌手との交流会(有料)への参加
- ⑤ その他主催コンサートへご優待価格でのご案内 他

お問合せ: 日本オペラ振興会チケットセンター
03-6721-0874 (平日10:00~18:00)

プレミアムシート特設ページで金額も簡単に確認いただけます。今すぐチェック!

日本オペラ振興会

公益財団法人日本オペラ振興会に対するご寄付と賛助会員のご案内

当振興会では団体運営及びオペラ公演等の制作に要する資金を充実させるため、
寄付ならびに賛助会員募集によるご支援をお願いしております。

- ◎寄付金 お申し込み金額はご自由にお決め頂けます。
◎賛助会員 賛助会費年額は法人30万円以上、個人10万円以上にて
よろしくご支援お願い申し上げます。

- ◎税法上の優遇措置
当振興会は公益財団法人と認定されたため、当振興会への寄付金、賛助会費に対しては、法人、個人それぞれに税法上の優遇措置が適用されます。

<詳細のお問合せまたは資料のご請求> 日本オペラ振興会 渉外部 TEL 044-953-6411 FAX 044-953-8693

育成部募集

2021年度 オペラ歌手育成部 募集告知

～次世代を担うオペラ歌手育成機関～

【研究生】

～プロの舞台を目指すフレッシュな人材を募集します～

1. 修業年限 1～3年 *実力にあったコースから編入可能
2. 受験資格
 - オペラ専門コース I
オペラ歌手として必要な基礎を学びます。
 - オペラ専門コース II
歌唱表現の土台作りとオペラアンサンブルをさらに次のステップに向けてレベルアップします。
 - オペラマスターコース
個々の成長に合わせ、本舞台に向けたオペラアンサンブルとオペラ全曲の研修を行います。

※入所試験時に特に優秀と認められた方には奨学金が授与されます。

*募集要項および志願票は詳細決まり次第、日本オペラ振興会ホームページへ掲載致します。

【選科生】

～楽しみながらライブワークで歌を!～

- *声楽個人レッスンとアンサンブルのグループ授業が受けられます。
1. 修業年限 1年(次年度再受講可能)
半期コースは4月～9月と10月～3月の半年
 2. 受験資格
 - 声楽アミーチコース
18才以上
水曜日・土曜日/各曜日昼コース・夜コース
 - 声楽ストウーディオコース
18才以上 音楽の学校等で声楽を1年勉強したものと同等の実力を有する者
水曜日/昼コース

お問い合わせ先: 公益財団法人日本オペラ振興会 オペラ歌手育成部

〒215-0004 神奈川県川崎市麻生区万福寺1-16-6 昭和音楽大学北校舎内
TEL (044) 969-7197 FAX (044) 953-8693 ※午前10時～午後6時(土日・祝日休み) <https://www.jof.or.jp/training/>

サテライト教室

アミーチ藤沢クラス 募集

日曜日にオペラ・アンサンブルを楽しく学べます。
気軽にはじめられ、半年に一度の発表会でさらに実力がつきます。

- ◆開講日: 日曜日 10:30～13:30(3時間の授業)
- ◆期間: 半年/授業回数15回 発表会(別途費用)
- ◆場 所: JR線・小田急「藤沢」駅南口より徒歩4分

*授業日程など詳細はホームページ、又はオペラ歌手育成部までお問い合わせください。



J O F ニュース

APAN PERA OUNDATION
日本オペラ振興会会報

No.21

表紙photo：
2020年日本オペラ協会公演
歌劇「紅天女」
原作・脚本：美内すずえ
作曲：寺嶋民哉
指揮：園田隆一郎 演出：馬場紀雄
写真：池上直哉



日本オペラ振興会 公式ホームページで 随時情報更新中！

♪ ホームページ注目のコーナー♪

最旬のアーティストや公演を
もっと知ってもっと楽しむコーナー

チャオペラ
CiaOpera!

- ★藤原歌劇団と日本オペラ協会のオペラ公演はもちろん、主催コンサートや協力公演の情報も公開！
- ★オンラインにて24時間チケットが購入可能！
- ★お得なセット券〈プレミアムシート〉も簡単にご購入できます！
- ★JOF Blog 舞台裏レポートで、舞台のウラ側や稽古風景、育成部の授業風景などをご紹介します！
- ★オペラ鑑賞の「いろは」や知らなかったオペラのホントを大公開！そのほかお得な情報が目白押し！

いますぐ

<https://www.jof.or.jp>

公益財団法人 日本オペラ振興会

本部：〒150-0001 東京都渋谷区神宮前4-3-15-317 【総務】03-6721-0995 【チケットセンター】03-6721-0874 (平日10:00~18:00)
新百合ヶ丘事務所：〒215-0004 神奈川県川崎市麻生区万福寺1-16-6 【事業部】044-953-6411 【育成部】044-969-7197